

# 令和 7年度施策方針書

政策	06 市民と共につくり未来へつなぐまちづくり
施策	01 互いに認め合う共創社会の推進
主管課	協働推進課
関連課	地域福祉課、総務課、秘書課、協働推進課、政策企画課、国際交流課、くらし安全課、スマイルライフ推進課、商工観光課
施策が目指す姿	市民/互いに認め合い、地域課題に取り組んでいる

## 方針

令和 7年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民活動の支援などにより地域のつながりや互いに尊重し認め合う意識を一層醸成するとともに、市民活動に参画する人材の育成を行い、行政も協働して共創社会の実現に取り組む。</li> <li>第4次男女共同参画プランの重点目標である「女性の活躍推進」と「ワークライフバランス実現」を推進するため、積極的な啓発活動と誰もが活躍できる環境づくりに取り組む。</li> <li>日本人市民と外国につながる市民との相互理解を深めるための交流や多言語での情報発信を行うとともに、学校や環境、防災などの関係部局と連携して多文化共生社会の推進を図る。</li> <li>姉妹・友好都市の異文化体験の機会を創出し、市民の両都市への理解を深めると共に、各友好協会と連携し各都市の特性を活かした幅広い交流の推進を図る。</li> </ul>
--------	---

## 指標

成果指標名①	まわりに認められ尊重されていると思う人の割合				単位	%
					達成率区分	増加目標
目標値	令和02年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
計画		49.3	49.3	49.3	49.3	
実績	49.2	50.9	56.6			
達成率		103.25%	114.81%			
成果指標名②	まちづくり活動（NPOやボランティア活動）に参加したいと思う人の割合				単位	%
					達成率区分	増加目標
目標値	令和02年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
計画		51.7	51.7	51.7	51.7	
実績	51.6	53.6	59.3			
達成率		103.68%	114.7%			
成果指標名③					単位	
					達成率区分	
目標値		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
計画						
実績						
達成率						

## 事業費内訳

(単位：千円)

		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	
事業費	計画	0	0	172,906	165,913	204,965	204,332	
	実績	0	0	0				
財源内訳	国庫支出金	計画	0	0	7,204	15,011	10,000	0
		実績	0	0	0			
	県支出金	計画	0	0	5,424	1,401	4,854	4,503
		実績	0	0	0			
	地方債	計画	0	0	0	0	0	0
		実績	0	0	0			
	その他	計画	0	0	72,598	16,829	31,629	30,176
		実績	0	0	0			
	一般財源	計画	0	0	87,680	132,672	158,482	169,653
		実績	0	0	0			
人件費	計画	0	0	53,230	83,256	83,256	83,256	
	実績	0	0	0				
トータルコスト	計画	0	0	226,136	249,169	288,221	287,588	
	実績	0	0	0				

## 令和 5年度評価兼事中（令和 6年度）評価

<p>施策の振り返り</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治基本条例推進委員会を開催し、条例の普及啓発の状況確認や条例制定10周年記念事業に関する検討を行った。／・「まちづくり市民集会」を開催し、参加した65.7%の人が「自分の思いを話すことができた」、また、62.9%の人が「いろいろな人の意見が聞けて良かった」と回答しており、地域社会の課題や市の未来について意見交換や情報を共有することができた。／・「やいづ未来まちづくり研修会」を初級編とスキルアップ編の2つの講座に分けて開催し、地域づくり活動を担う人材の発掘及び育成に取り組んだ。</li> <li>・男女共同参画を推進するため、第4次男女共同参画プランの策定を行うとともに、情報紙の発行やアドバイザー派遣などを行った。／・男女共同参画・人権フォーラムでは、「ある幸せ、ない幸せ～自分で決める暮らし方～」をテーマに講演会を行い、参加者の約85%が男女共同参画について理解が深まったと感じたと回答し、男女共同参画を通し全ての人の人権が尊重される社会の啓発ができた。</li> <li>・多文化共生推進協議会を開催し、多文化共生推進計画の進捗管理と多文化共生に関する状況などの情報を共有した。／・「はじめての日本語教室」を開催し、外国につながる市民の日本語力の向上に努めるとともに、教室をきっかけとした新たな交流事業を実施した。／・外国語版の広報紙やホームページ、やさしい日本語によるLINEなどで市政情報を発信した。</li> <li>・ホバート市長を表敬訪問し、2027年2月の姉妹都市交流締結50周年に向けた記念事業などについての意見交換や今後の交流事業の方向性についての共有を図った。</li> <li>・モンゴル国チンゲルテイ区と職員交流をはじめとした交流を実施すると共に、今後の更なる交流推進を図るため、チンゲルテイ通りの設置や友好都市提携を締結した。</li> </ul>
<p>施策の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治基本条例の理念や協働についての理解を広める取り組みを継続する必要がある。</li> <li>・地域のつながりや互いに尊重し認め合う意識の醸成を図るとともに、まちづくりに役立つスキルを習得するための研修会を開催する必要がある。</li> <li>・男女共同参画意識を高めるため、引き続き啓発活動への取り組みを進める必要がある。</li> <li>・第4次男女共同参画プランにおいて重点目標と位置付けている、「女性の活躍推進」と「ワークライフバランス実現」に集中的に取り組んでいく必要がある。</li> <li>・外国につながる市民は年々増加しており、地域における日本人市民との、相互の理解と交流の促進に取り組むとともに、市政情報などを積極的に発信する必要がある。</li> <li>・ホバート市姉妹都市交流50周年に向けた記念事業など、友好協会やホバート市と協議を重ねていく必要がある。</li> <li>・友好提携を締結したチンゲルテイ区と、市民団体や企業など幅広い世代や様々な分野での交流につながる事業を推進していく必要がある。</li> </ul>
<p>市民意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治基本条例を読むだけでは理解するのが難しいため、わかりやすい絵や言葉を用いた説明資料があるといいと思う。</li> <li>・地域のつながりが希薄になっていると感じるため、「つながる」という言葉をキーワードに地元の自治会で文化祭を開催したところ、地域の人々の絆（きずな）を深めることができた。</li> <li>・学校で地域との交流活動をした経験から、市民同志で協力して何かができたら素晴らしいと思う。</li> </ul>